

第4回「アフリカ産業戦略勉強会」
ケニア国製造業の発展の可能性と
政治社会背景

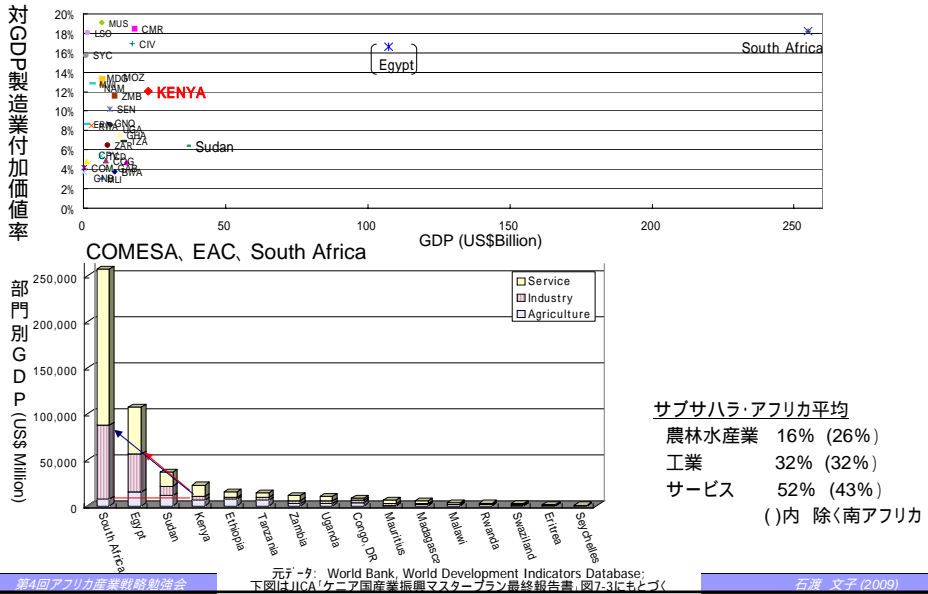
2009年5月18日

ビコーズインスティテュート株式会社

石渡 文子

統計データからみる
ケニア国製造業の位置づけ

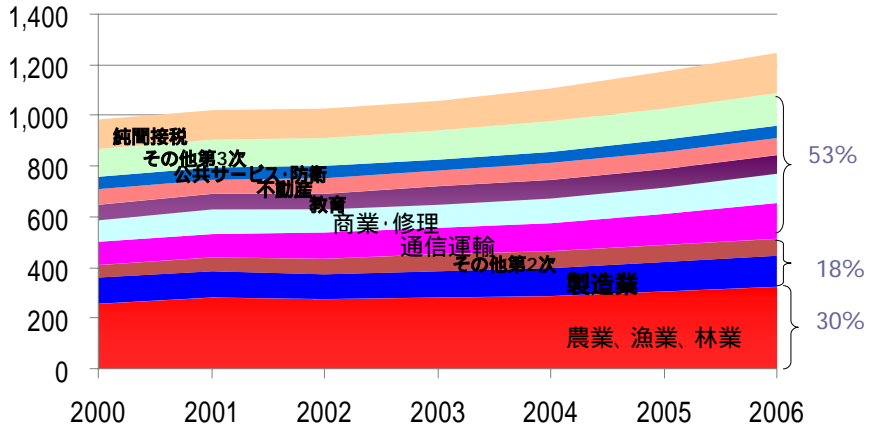
1. サブサハラ・アフリカの製造業 (2006年)



2. 産業別GDP貢献度

2001: 78.60Ksh/\$

Billion Ksh (2001年価格)

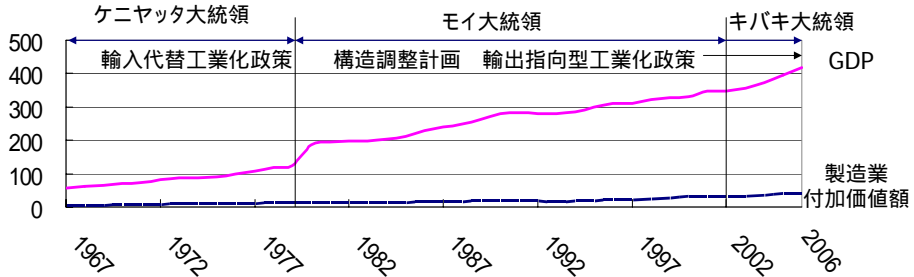


資料: Kenya National Bureau of Statistics, Statistical Abstract 2007, 2006, 2005

3. GDPと製造業付加価値額の変遷

Billion Ksh (1990年価格)

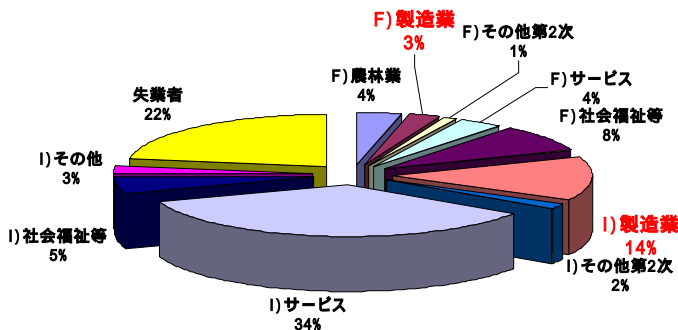
1990: 24.08Ksh/\$



1967年～2006年の
 GDP平均成長率: 5.2%
 製造業付加価値額平均成長率: 5.3%
 製造業のGDP平均貢献率: 9.0%

出典: JICA, Master Plan Study for Kenyan Industrial Development: Final Report, Figure 1-1に加筆

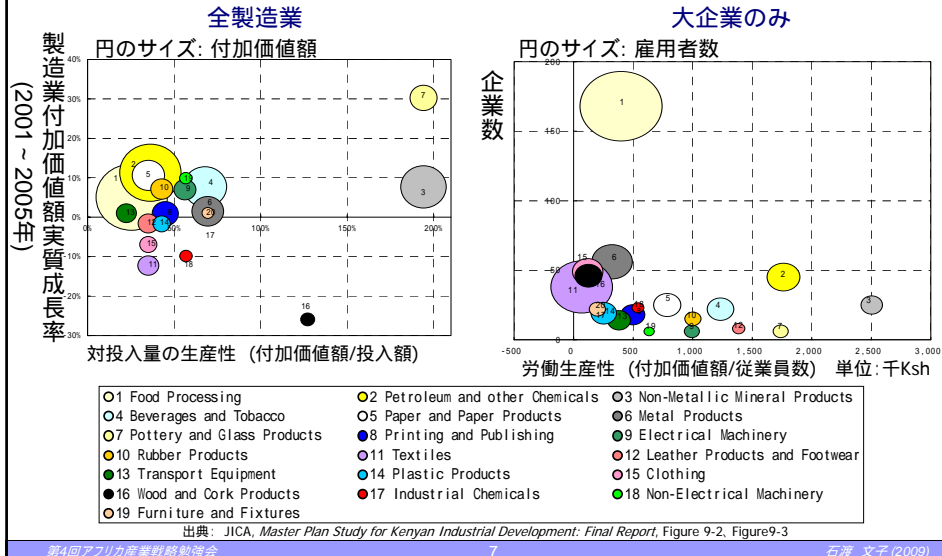
4. 雇用吸収力 (2002年推計)



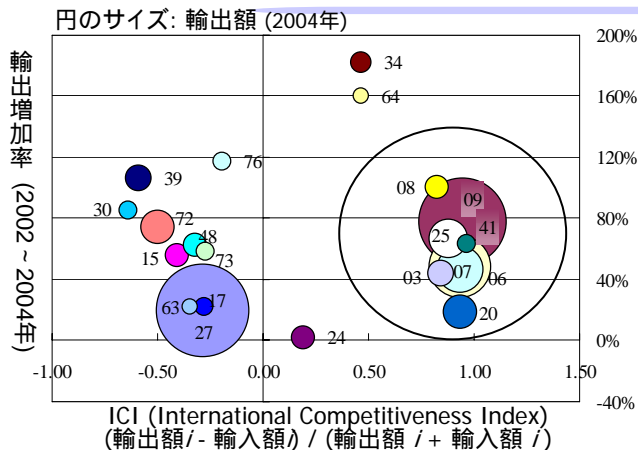
F): フォーマルセクター賃金雇用者
 I): インフォーマルセクター従事者

出典: Central Bureau of Statistics Economic Survey 2006 p.64, P.75
 失業者数は Government of Kenya (2004) Investment Programme for the Economic Recovery Strategy and Wealth and Employment Creation 2003-2007を参照して推計した

5. 製造業セクター別パフォーマンス(20年)



6. 製造業の輸出競争力(2004年)

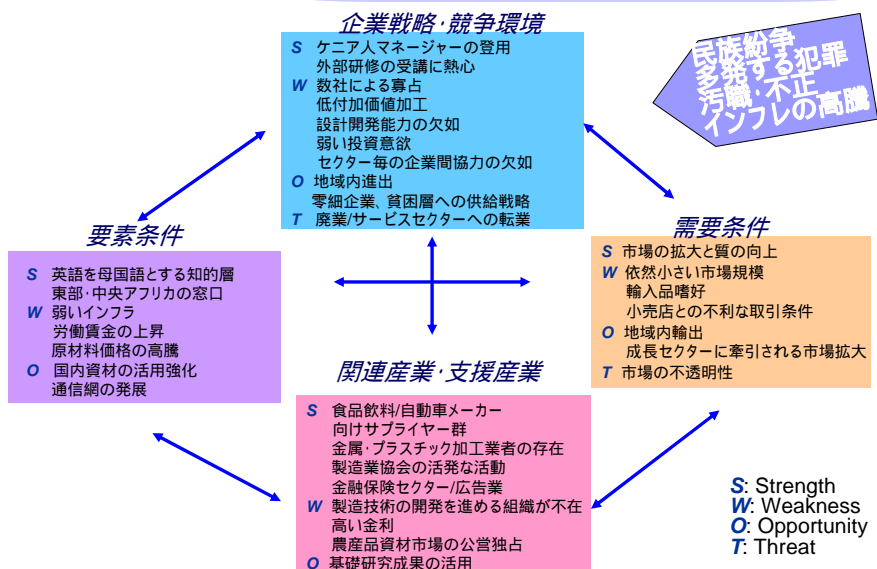


27 Mineral fuels, oils; 09 Coffee, tea, mate, spice; 06 live trees (horticulture); 07 edible vegetables; 25 salt sulfur; 72 Iron, steel; 20 Preparation of vegetables, fruit, nuts; 03 Fish, crustaceans; 39 Plastics; 15 Animal or vegetable fats, oils; 08 Edible fruit, nuts; 48 Paper, paperboard; 24 Tobacco; 34 Soap; 41 Raw hides, skins; 64 Footwear

出典: JICA, Master Plan Study for Kenyan Industrial Development: Final Report, Figure 9-6

ケニア国製造業の定性分析

ダイヤモンドモデル(ケニア製造業)



1) 需要条件

S 市場の拡大と質の向上

e.g. 携帯電話

(Safaricom 2008年売上高974億円、税前後益約220億円)

飲料水 (Appletiser, Alvaro, etc.)

W 依然小さい市場規模 (政府が最大の消費者)

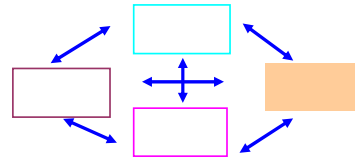
輸入品嗜好

小売店との不利な取引条件

O 地域内輸出 (EAC、COMESA)

成長セクターに牽引される市場拡大

T 市場の不透明性 (情報の欠如)



2) 要素条件

S 英語を母国語とする知的層

東部・中央アフリカの窓口

(モンバサ港、ナイロビ国際空港)

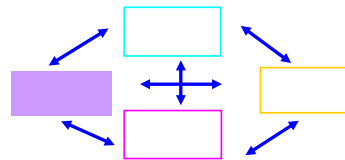
W 弱いインフラ (道路、鉄道、電力、ガス)

労働賃金の上昇

原材料価格の高騰

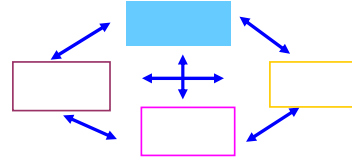
O 国内資材の活用強化

通信網の発展 (インターネット、携帯電話)



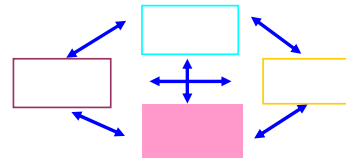
3) 企業戦略、競争環境

- S** ケニア人マネージャーの登用
外部研修の受講に熱心
- W** 数社による寡占
低付加価値加工
設計開発能力の欠如
弱い投資意欲
セクター毎の企業間協力の欠如
- O** 地域内進出
零細企業、貧困層への供給戦略
- T** 廃業/サービスセクターへの転業



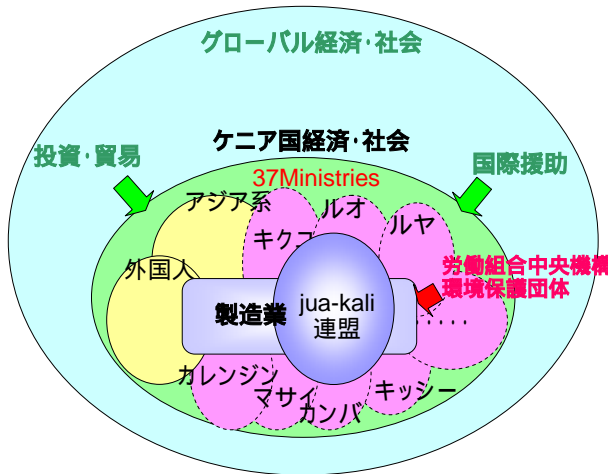
4) 関連産業、支援産業

- S** 食品飲料メーカー向けサプライヤー群
(特にパッケージング資材関連)
自動車メーカー向けサプライヤー群
(タイヤ、シート、パイプ、ガラス、バッテリー、ワイヤー
ハーネス、スプリング等)
金属・プラスチック加工業者の存在
製造業協会 (KAM) の活発な活動
金融保険セクター/広告業 (新聞、テレビ、ラジオ)
- W** 製造技術の開発を進める組織が不在
高い金利
農産品資材市場の公営独占 (e.g. 除虫菊)
- O** 研究機関が生み出した基礎研究成果の活用
(ICIPE, ILRI, ICRAF, KEMRI, etc.)

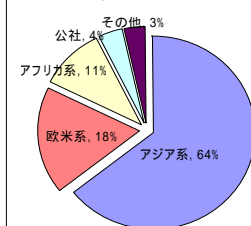


ケニア国製造業をとりまく 政治社会

1.ケニア国製造業の発展をとりかこむ制度



cf. 373製造業者のオーナーシップの調査 (1995年)



JETROケニア事務所調査

2. 製造業振興策の表向きと実際の乖離

表向き

急速な経済成長を可能とする製造業の発展を促進

e.g. Vision 2030 (2008-2030)
 「2030年までに中所得国に参入するために年率10%の経済成長をターゲットとする。」
 - 観光、農業、商業、製造業、BPO、金融が牽引役



実際

地方(民族バランス)、貧困層(零細企業)に配慮したばらまき型 "政治"主導型

均衡的低成長?

cf. Budget Speech (June 2008)
 「3億シリング(約5億円)を以下のプログラムに投じる。」
 魚の皮のプロセス: 西部(ビクトリア湖周辺)
 マンゴ-の加工、キャシューナッツ、パームワインの製造: 海岸部
 小規模な革加工: 北東部
 蜜の製造: 中部
 フルーツの加工: 東部
 革加工: ナイロビ

3. 産業化省の役割は？

製造業の競争力強化に必要な課題は多くの省にまたがり担当している

担当省・局	製造業協会と政府の第4回ラウンドテーブルで話し合われた主なトピック (2007.7)
貿易産業省	<ul style="list-style-type: none"> ■輸入手続きの情報共有と迅速化 ■偽造品の不正輸入の防止強化 ■他省とのコーディネーション機能 (縦割り行政の壁、Performance Contract上の評価)
財務省	<ul style="list-style-type: none"> ■適正な課税レートの適用 ■迅速な税の還付金納付 ■関税セクションの24時間オペレーション
エネルギー省	<ul style="list-style-type: none"> ■電力不足の地域の改善 ■地方電化計画の推進
地方自治省	<ul style="list-style-type: none"> ■ライセンスの簡素化 ■公正なとりしまり ■道路の改善
運輸省	<ul style="list-style-type: none"> ■港湾使用料の安定化 ■港湾でのクリアランスの迅速化
情報省	<ul style="list-style-type: none"> ■光ファイバー敷設工事の計画共有 ■通信コストの低減 ■新規参入通信業者への迅速なライセンス供与
環境省	<ul style="list-style-type: none"> ■水資源保護の規制のみなおし ■社内環境監査の推進
労働人材省	<ul style="list-style-type: none"> ■工業トレーニング課税にかかわる納付と返金方法のみなおし ■健康診断義務のみなおし